

加美町さ
住まいん

宮城県 加美町 移住ガイドブック

KAMI STYLE

TAKE FREE

のんびり行こうよ
人生は



あなた発加美町行きの

切符はこちらです

やくらい山の懷に

包まれた加美町。

手つかずのぶなの森、

毎日変わる風、

地域のあたたかい絆・・・

癒しの加美町と、

カヌー、温泉、プール、

地ビール園、

音楽ホール・・・

アクティブな加美町。

そのバランスが



中新田地区ではあちこちで

「ぼのぼの」に出会えます！



ぼのぼのが
見守る
花楽小路
商店街

いがらし先生の
仕事場を再現した
「ぼのぼの館」
(中新田図書館内)



MIKIO IGARASHI

2021.1.22

ちょうどいい。

加美町で、

もっともっと楽しめる

自分に出会えます。



Contents

加美町ってこんなところ

▶ 3・4

THE VOICE
「先輩移住者から
加美町のススメ」

▶ 5～8

あなたに伝えたい、
加美町民の声

▶ 9・10

加美町暮らし MAP

▶ 11・12

あなただけのために
加美町ご案内します

▶ 13

加美町移住 適正チェック

▶ 14

そこかしこに空き地があり、一緒に遊ぶ子どもたちが近所にいくらでもいました。そういう時間の中で、記憶しているふるさとの景色は、人生の財産とも言えるものです。

ぜひみなさんにも、ふるさとの景色に親しみ、お子さんと一緒に思い出を作っていたいただきたいと思います。



© いがらしみきお / 竹書房



加美町観光大使・漫画家
いがらしみきお
わたしの年代の少年時代は、とても恵まれていました。

加美町観光大使から

メッセージ

Check



岩手県

加

加美町

できます。やくらい山の麓の地でビールレストラン「ぶな林」では5種類の地ビールも味わうことができます。また、つきたての餅や手打ちそば、あゆ料理など、地元の美味しい食べ物を堪能できます。評判のラーメン店も数多くあります。

車を走らせれば1時間で100万都市仙台へ行くことができます。大変便利で魅力的な町です。



宮城県



東京駅から古川駅まで最短 1 時間47分
八戸駅から古川駅まで最短 1 時間20分



ＪＲ仙台駅からミヤコーバス １時間１５分
 ＪＲ古川駅からミヤコー大崎バス ２４分
 ＪＲ西古川駅からミヤコー大崎バス １０分



東京方面から東北自動車道大和ICより20分
東北自動車道大衡ICより20分
盛岡方面から東北自動車道古川ICより20分
東北自動車道三本木
スマートICより20分

観光
スポット
まで

仙台駅から「やくらい」まで車で1時間10分
 仙台駅から「陶芸の里」まで車で1時間15分
 仙台駅から「花楽小路」まで車で1時間

福島県

加美町を
覗いてみよう！
町公式インスタは
こちら



SHIYAGI KAMI OFFICIAL



エノキダケが音符に似ていることから「白い音符」という名称で、音符をデザインした袋で販売しています。



いろいろな味が楽しめるジェラートです。季節の山菜を使ったものや名物のワサビ、しょうゆを使ったジェラートまで！子どもから大人まで大人気です。

もち御膳 もち米の産地でもある加美町では餅文化が根付いています。「食彩市場どんこ館」で食べることができる「もち御膳」は地元のお母さんが丁寧に作っています。



あや 町魚でもある鮎は「宮城鮎工房」やふるさと納税にてお取り寄せすることができます。

加美町ってこんなところ | 3

旨いもの食べ歩き

移住までのステップ

STEP 1

どんな暮らしをしたいか、家族と相談する

どのような暮らしを実現したいのか、移住の目的を家族みんなで考えてみるのが大事な一歩です。

STEP 2

加美町の情報を集める

加美町ってどんなところ? 仕事や住まい、子育て環境、移住者の声などの情報を、HP やSNSで集めてみましょう。

STEP 3

※1 加美町(ひと・しごと推進課)に相談する

加美町なら、電話・メール・面談(オンラインも可)などあなたに合った方法で相談できます。ホームページ内では、町が参加する移住セミナーなどのご案内もしています。

STEP 4

加美町に行ってみる

地域の雰囲気や生活環境などを直接確認しましょう。イベントにも参加して地域の方と交流するのもおすすめです。

STEP 5

仕事や住まいを見つける

加美町では無料職業紹介所を開設し、ハローワークや町内企業等と連携しながら相談員が個別に求人情報を紹介しています。また、町内の賃貸物件情報や、空き家バンクもHPで随時更新中です。

STEP 6

加美町で暮らす

地域によって様々な習慣や文化があります。その地域に合った付き合い方を心がけ、加美町 LIFE を楽しみましょう!

※1

加美町役場ひと・しごと推進課

電話 0229-63-5611

FAX 0229-63-2037

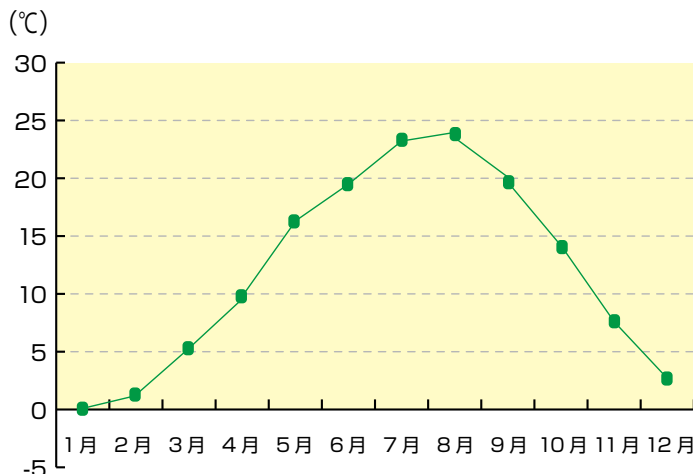
メール hito-shigoto@town.kami.miyagi.jp

https://www.town.kami.miyagi.jp/kurashi_tetsuzuki_ijuu/ijuu_teijuu/index.html



加美町の平均気温

2017年~2021年

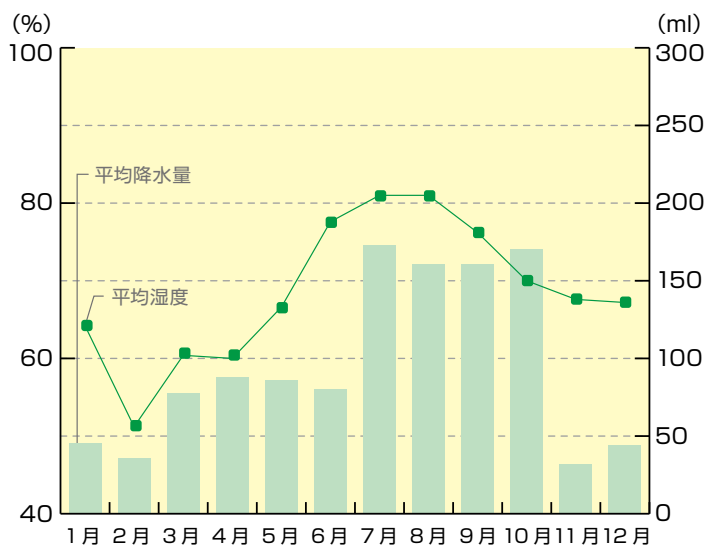


寒暖の差が大きい気候です。冬期間、西部山岳地帯は雪も多く、豪雪地帯に指定されています。しばしば氷点下となるため、夜間の水抜きが必要な場合もあります。

加美町の平均湿度・降水量

【湿度】2013年~2017年

【降水量】2017年~2021年



梅雨の時期(6月中旬~7月下旬頃)は、雨も多く湿度の高い日が続きます。秋を過ぎると湿度も下がり過こしやすくなります。



醤油 原料栽培から仕込み、蔵出しまで行う全国でも珍しい蔵元で、「吟醸」は農林水産大臣賞受賞の折り紙付きです。

日本酒 良質の米と水に恵まれた加美町で作られる日本酒は、品評会で金賞に輝くなどその技術力は全国的にも認



やくらいビール 船形山系の天然水とドイツ伝統仕込みの製法の地ビールです。生きた酵母が生み出す自然の美味しさを是非お試しください。

次の世代につなげられる暮らしをしていきたい。

岸 田 紗 季 さん



Profile

研究職を志し大学の農学部へ。水田の土壌データ分析を専攻したが、実際に体を動かして作る側の仕事がしたいと、平成28年4月地域おこし協力隊に。

3年の活動を経て、平成31年4月から就農。

Q 移住のきっかけは？

A 農業を始めるにあたって地域おこし協力隊の制度が最適と考え、加美町なら先輩隊員もおり何度か訪れたこともあったので：今は加美町を選んで正解だったと思います。

Q 加美町に来てみて感じたことは？

A 閉鎖的な環境を想像していましたが、温かく受け入れてもらい応援していただいています。私は都会育ち、はじめはなまりや雪の多さに苦労しました。引越してきて翌日には班の行事ということで念仏講を見学させてもらいましたが、そういった風習を知らなかった私は、「ああ、これはまずいところに来てしまったな…。」と思ったのを今でも鮮明に覚えています（笑）。

Q 地域おこし協力隊としてはどんな活動を？

A これまで、受け入れ先の上区域内営農組合で、稲作、畑作、おもちゃおはぎなどの加工、グリーンツーリズムに関する活動など様々な貴重な体験をさせていただきました。

学生時代、農学部では、技術や科学という観点で農業を学びましたが、3年間実際に農業に従事させていただいて、農業は継承していくもの、というイメージが強くなりました。世襲制という狭い意味ではなくて昔からつくり続けてきた土、守ってきた種、知恵、風習など工業製品をつくることと違って、親から子へさらに次の世代へと受け継がれていくものがとても多く、それが魅力だなと感じます。

Q 協力隊期間が終わって就農に際して、迷いはなかった？

A 不安なことはたくさんあったけど、今も不安でいっぱいなのですが、自分らしい選択かなと思っています。必死でわくわくな日々です。

Q 今後の目標、将来の夢は？

A 自分のような研修生を受け入れられるようにしたい。



自分の農産物や加工品などのお客様がいて、地域に根差した農業を行いながら、人との交流を大事にするような仕事にしたいと考えています。

農業体験で受け入れた中学生の女の子から手紙が届き、「アイガモにエサをあげたのが衝撃的でした。食べ物に感謝してごはんを食べます。」というようなことが書いてあり嬉しかったです。

また、別の生徒は農業に興味を持ってくれ、農業高校に進学したとも聞きました。今後も加美町で地域の皆さんや移住仲間たちと次の世代につなげられる暮らしをしたいと思っています。

自分たちの考えるライフスタイルが叶えられる場所

熊田 雄治さん 夫婦
麻友美さん



Profile

神奈川県大和市に住んでいたお二人。キャンプにはまり、休日は郊外へ車を走らせる生活に。そんな時、ふるさと回帰支援センターへの相談をきっかけに今後の人生について話し合い、東北への移住を考えるように。

Q 移住のきっかけは？

A もともと加美町に移住とは考えていなかったんです。でも、宮城県を訪れていてふらりと加美町に寄った時、山の稜線がとてもきれいで。加美町もいいなあって（笑）。

それからは、何度も足を運びました。加美町は駅が無いんです。今までは〇〇駅から△分という発想しかなかったのですが、初めは電車が無い、と思っていたのですが。結局は車で移動するのであんまり関係ないかと。

住むところについては、空き家や新築ということも考えましたが、お気に入りの場所を見つけてからでも遅くないということ、最初は賃貸アパートにしました。仕事は、夫は加美町内で働いています。

Q 加美町に住んでみて感じたことは？

A 船形山と薬菜山の夕焼けがきれいで大好きです。夜になると空が広いので星がたくさん見えます。そして、いい意味でのんびりしているので、心にゆとりがうまれました。

また、1年を通してイベントが多いので楽しいです。生活においては、コンビニ・スーパーなどが意外とあるので買い物には困りません。週末には土産センターに行き、新鮮な旬の野菜を買うのが楽しみです。地域の方も優しい方が多いですが、想像以上に方言が聞き取れず…驚きました（笑）。

Q 今後の目標・将来の夢は？

A 自分たちで食べられる分の野菜を作りたい。そして小さなカフェをやりたいと思っていますが、まずは加美町に慣れている人な方と出会うこと。ゆっくりいこうと話しています。

Q 今後、移住を検討する方にメッセージを！

A 特別、何かあるわけでもない。だからこそ、自分たちの考えるライフスタイルが叶えられる。これがこの町の良い

ところだと思っています。まずは一度、実際に足を運んでみてください。実際に町の雰囲気や景色、人に触れてみる事が移住するにあたって一番大切だと思います。きっと実際に加美町に来たらこの町が好きになるはず！



これから生きる力を培う
原点は自然の中で遊ぶこと。

深 沢 知 里 さん



Profile

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所にて研究をしながら、中学生と小学生の3人の子どもを育てる。

Q 移住のきっかけは？

A 夫の仕事の関係で大崎市に住んでいたのですが、家を探していて加美町を訪れた際、里山の感じが他と違っていて、植物をはじめ生物が多様で、すごくいいところだなんて。散歩していても、歩けば歩いただけ違う植物が出てくる。本当に楽しいです。もみじイチゴやウグイスカグラもいっぱい実をつけていて、子どもたちも自分で取って食べられるんです。これって実はすごいこと……ぜひここに住みたいって思ったんです。

Q 移住するのに、不安はなかった？

A 私は不安よりも自然豊かな地で暮らせることの喜びの方が大きかったのですが、都会の方が自然に入るとき、一番心配なのが、危険なものがいっぱいあって怖いってことだと思うんです。でも本当に危険なものって限られていて、そういう生き物との付き合い方を子どものこ

ろから学ぶことが大事。漠然と怖いじゃ前に進めない。具体的に何に気を付けるといいうのが分かっただけで、自然という素晴らしい世界への扉が開くのだと思います。これは、都会にいては絶対できない経験ですよ。ね。

Q 自然豊かなところはほかにある中でどうして加美町に？

A 加美町は、四季折々の自然がすごい。夏はカブトムシが家に来ます。冬は雪遊びもできますが、雪で生活が滞るといいうほどではないです。

野菜も新鮮、特にリンゴは種類も豊富です。すごくおいしい。それでいてバツハホールなど文化的な部分もある。

それに人里離れた荒沢湿地も素晴らしい。湿地にハンノキが茂っているんですけど、春は水面をサーッと風がわたっていくのが見えるんです。それを見ているだけで日々の疲れが癒される。そんな原生林や奥山は、いつも危険と隣り合わせでどうやって入っていいか分からない。でも加美町には、そんな人でも一歩を踏み出すためのサポートをしてくれる人がいて……。ここに住みたいと感じさせる何かは、あります。

Q お仕事に不便はない？

A 仙台市内にも週何度か行きますが、1時間ちよつとで着きます。私の周りでも仙台まで通勤している人は結構いますよ。1時間で家のすぐわきをカモシカが通っていく住環境が加美町にはあるんです。

Q 加美町での子育てはいかが？

A 学校までは距離がありますが、スクールバス・地域バスが充実しているので安心。放課後も児童館で18時まで預かってくれるので、仕事で帰りが遅くなっても、家にひとりということはないです。

人間は自然が無くては生きていけない。本当に分からないものになってしまったら、生活は持続していかない。

子どもたちの生きる力を培う原点は自然の中で遊ぶこと。共に生きていくために自然から様々なことを学んで、生きる力を身につけてほしいですね。



大切にしかったのは、 幸せの分岐点

庄 司 政 信 さん



Profile

加美町出身で就職とともに上京し、SEとして活躍。平成28年4月に妻と子どもとともに加美町へ移住し、地域おこし協力隊に。
2年の活動を経て、平成30年4月から就農。

Q 移住のきっかけは？

A 小さなシステム会社を経営し、激務もいとわずにやりがいを感じて働いていました。やがて、結婚し子供が生まれ、家族の大切さを強く感じると同時に両親への感謝も次第に大きくなっていきました。実家は跡継ぎ不在の農家、幼少から農業の大変さを間近で見てきたので、何かと理由をつけて実家に戻ることを拒んできました。しかし、真剣に農業について調べてみると、ビジネスとしては難しい分野ながらも、興味をひくところが多々あることを知りました。そして何よりも、自然の中で人間らしい暮らしができること、家族の近くにいられること、そこで子育てができることにとても魅力を感じたため、Uターン移住を決意しました。

Q すぐに親元就農せず、 地域おこし協力隊として 活動したことは良かった？

A 協力隊になったことで、受入先の農業法人での実地経験や知識に加え、研修等での農家同士や農協、自治体とのより広い範囲のつながりを持つことができたことはとても大きな財産になりました。実際、受入先の農業法人は資金や仕事の作り方など、経営的な手法はとても勉強になり、自分の経営を拡大させるイメージを膨らませることができました。協力隊の仲間も世代はバラバラですが、その行動力や考え方にいつも刺激を受けています。OBになっても頻繁に交流がありとても嬉しいです。

Q 実際就農して計画どおり だった？

A 私がかもともと法人を経営していたということで、受入先の農業法人の社長は『ビジネスとしての農業』という観点でいつも話をしてくれました。その知識から、作業や資金計画を数値化し推移や裏付けもしっかり取ることができたので、数字だけで言えば計画と実績に大きな乖離はありませんでした。

しかし、『植物を育てる』ということはまた別の話で、病害虫の発生や、肥料が足りず上手く生育しない、そして作業に時間がかかる…等々、悪戦苦闘の連続でした。ただ、この奥の深さが農業の魅力で、それに益々ハマっていく自分があります（笑）。

Q 今後の目標、将来の夢は？

A 移住してきて多くの人に知識や技術、経験を与えられたので、ゆくゆくは私も『与える人』になればと思います。グリーンツーリズムや農家民宿などの農業体験を通して農業の魅力を伝えたり、Uターン移住者としての経験を活かして地元の人と外からの人と一緒に課題を考え解決していければと思います。

将来の夢は誰もやったことのない農業をすることです。地元を離れた16年間は決して回り道でなく、その経験からできる農業がきっとあるはずだと思うので、これからチャレンジして行きたいです。



あなたに伝えたい 加美町民の声



東京でホテルに勤務していましたが、夫とともに移住してきました。ここでは休日、地域活動に参加したり、夫婦で出かけたりと充実した生活を送っています。飛び込んでみると、意外とすんなりうまくいくものです。

19歳から農業を始めて今年で14年目。農業って難しい。でも、だから楽しい。うちの会社は農業をやったことない初心者がほとんど。でも大丈夫。一緒に農業しませんか。



子どもたちは自然の営みを自ら感じ、気付き、想像して遊びを創り出します。加美町の自然は子どもたちにとって格好の探検場所。「ふしぎ」と「おもしろい」がいっぱいの宝箱のような場所。みんなで自然の中で「自分のやりたい」をのびのび表現し楽しんでいます。「遊び」は生きる力！とたくさん遊びつくしたいですね！

この町の約7割が森林。そんな加美の山を50年間歩いてきた。山の恵みである山菜や山野草、珍しい虫や野生の動物たちが姿を見せてくれる…。厳しいけれど美しい自然をぜひ体感してもらいたいね。



私はこの町が大好きなんだ。リンゴ園やバス釣りの池、バーベキューハウス、ピザ釜も作った。いろんな人にこの町へ足を運んでもらいたいからね。次は新しいツリーハウスを作りたいと思っているよ。

都会は孤独だっていうけど、田舎にいたって孤独だと思うの。その人が地域とどうかわるかにかかっている。自分から心を開いていくことが大事だと思うわ。都会では味わえない日常生活を楽しんでね。



この町で南国のパッションフルーツやバナナ、ミラクルフルーツなどを育てているよ。珍しいものを見つけると、作ってみたい！って思っちゃう。植物の成長の過程を見守るのも、食べた人の驚いた顔を見るのも大好きなんだ。



加美町で育てた野菜のおいしさをたくさんの方に味わってほしい。旬を大事にして出荷したい…。そして加美町が心のふるさとになってくれたら…と思っています。雪の中でつくる凍み大根、ぜひ食べにきてね。

農業をやりたいと思ったら、やってみるといい。やってみないとわからないから…。うちでは体験もさせるよ。遊びがてら来て見て体験してみるといい。やる気のある人には機械も貸すし、イチから全部教えていいものを作らせるから。



移住者交流会が開催されているので、普段普通に過ごすだけではできないこともできて楽しいです。

さつまいもほり競争や雪原での雪遊びなど、加美町の魅力を体験するだけでなく、普段会わない人とも友達になれるし、移住後のコミュニティづくりや心配事の相談もできるので安心です！

大型スーパーが充実しているので、日用品は町内で全て揃うし、暮らしには困りません。

車で1時間も走ると、色んな所へ行けるから休日のドライブにはちょうどいい距離だね。

うちの子は、よく熱を出すので医療費が無料なのはいい。高校卒業までって…手厚すぎますよね？

図書館も蔵書数が多くて、子ども向けの絵本も充実しています。

新しくお家を建てたら補助金がもらえました。正直助かります。他にもいろんな支援制度があるので心強いです。

町内には伝統の酒蔵が3つもあり、日本酒が特別においしい。

音楽ホールや、温泉があるのもいい

まだまだあるよこんな声



加美町

宮崎エリア

小野田エリア

暮らしに 欠かせない 主要施設数



保育所・
こども園等 **7**



小学校 **8**



中学校 **2**



高校 **1**



公園 **8**



駐在所 **3**



警察署 **1**



消防署 **2**



スーパー **4**



郵便局 **6**



銀行・信金 **4**



図書館 **2**



公共ホール **2**



体育館 **3**



役場・支所 **3**



文化財・史跡 **5**



お食事処 **7**
※他多数

● 医院 **12**

- A ありまファミリークリニック
- B 伊藤医院
- C 大山医院
- D おのだクリニック
- E 菅野眼科医院
- F 佐々木胃腸科
- G さとう公整形外科
- H 鈴木診療所
- I 鈴木内科医院
- J 清宮眼科医院
- K 中新田クリニック
- L 中新田民主医院

■ 歯医者 **8**

- a 秋元歯科医院
- b 内田歯科クリニック
- c おがわ歯科
- d かんとう歯科クリニック
- e 佐澤歯科医院
- f つばさ歯科医院
- g フジワラデンタルオフィス
- h みちのく歯科診療所

あなただけのために 加美町ご案内します

随時受付

あなただけの
かみまち体験
プライベート
ツアー

か

みまち体験プライベートツアーでは、事前の相談内容を踏まえ、加美町での実際の暮らしをイメージできるよう個別に日程・ツアーの内容を作成いたします。保育所や学校、病院など「加美町で生活する」ことを前提としたあなただけのツアーを体験することができます。地元住民との交流など、ふれあう機会もたっぷりご用意します。

お問い合わせは裏表紙下部
加美町役場
ひと・しごと推進課を
ご覧ください。

ご希望に合わせた
オリジナルプランを、
一緒に考えます！



ご提案

ご安心下さい！しっかり
バックアップします！！
カヤック体験や、野菜収
穫体験をしてみるのはいか
がでしょうか！
また、地元の町民とふれ
あう機会もご用意します！

加美町への移住に興味があるけれど、よくわからない町は不安だからツアーに参加したい！
カヤック体験もしたいし、農作業にも興味がある！！
町民の方々はどんな人たちなんだろう・・・

疑問・不安！！



1泊2日のツアーを希望した A さんご家族の場合

※交通費・宿泊費一部助成・食費は自己負担

1日目



JR 古川駅集合！
職員が車でお迎えに
行きます♪

加美町に到着！先輩移
住者さんに移住してみ
ての感想などを質問



加美町のソウルフード
ジンギスカンを堪能！

町内のスーパーや公共施設・学校などをご案内し、本日のお宿へ！温泉もあります



2日目



チェックアウトをしたら、お宿を出発！
町の担当者に就農相談



音楽ホール見学や、
産直市場でお買い物♪
空き家も
ご案内できます



JR 古川駅までお送りし、ツアー終了！帰宅後は加美町が
移住先に適しているか、ゆっくりご検討ください！

check

こんな体験も
できます！



陶芸体験



カヌー・カヤック体験

野菜収穫体験



加美町で暮らしたいかな?!と
キョットでも考えたあなたへ

加美町移住 適正チェック

移動手段

☐車、バイクを持っている…持っていない方、**車、バイクは必須だよ!**

経験・性格

- | | | |
|--|--------------------------------------|------------------------------------|
| ☐ 人付き合いが好き | ☐ お祭りが好き | ☐ 手に職がある |
| ☐ 都会より田舎が好き | ☐ ときどき街にも行きたい | ☐ お酒は飲めるほう |
| ☐ 旬の野菜をおもいっきり食べてみたい | | ☐ 虫は苦手ではない |
| ☐ 地域活動に興味がある | ☐ 温泉で癒されたい | ☐ 農作業の経験がある |

チェックの数が **10~12** **すでに加美町民です** **7~9** **その調子!もう1歩踏みこんでみよう**
4~6 **少しずつ馴染んでいきましょう** **0~3** **他にもっといい場所があるかも**

音楽編

- | | |
|--|--|
| ☐ 音楽は生活の一部だ | ☐ コンサートを楽しむ休日でも悪くない |
| ☐ 音符♪につい反応してしまう | ☐ 自分で楽器を作れたらと思う |
| ☐ 人前で歌ったり、演奏してみたい | ☐ 演奏家を支える力になりたい |
| ☐ 音楽で人の心を癒したい | ☐ 子育てにリトミックを取り入れたい |
| ☐ パイプオルガンを弾いてみたい | ☐ まちのオーケストラの一員になりたい |

チェックの数が **6~10** **加美町で思いきり音楽を楽しもう!** **0~5** **たまには音楽のある生活もいいかも**

アウトドア・スポーツ編

- | | | |
|--|----------------------------------|--|
| ☐ 雪遊びにあこがれる! | ☐ キャンプが好き | ☐ 登山やハイキングなど自然の中に入るのが好き |
| ☐ パークゴルフを仲間と楽しみたい | | ☐ プールで体を鍛えるのが日課だ |
| ☐ 川や湖での釣りやカヤックに興味がある | | ☐ サイクリングで美しい景色の中を駆け抜けたい |
| ☐ スノーシューで新雪を歩きたい | | ☐ 野鳥や山野草の観察もやってみたい |
| ☐ 夜空に輝く星をゆっくり見上げる時間は必要だ | | |

チェックの数が **6~10** **アウトドアのスペシャリスト!加美町にあなたの力を**
0~5 **まずは一緒に初めてみよう!** (自転車、カヤック、スノーシューのレンタルもあります)

加美町に住むための

5つの
心得

1 汝、地域の一員たれ!

よそ者のままでは住めません。楽しい田舎暮らしは、そこに住む地域の人たちとの関わりから生まれます。地域の行事や活動を通じ、地域の未来と一緒に作りましょう。

2 うわさ話、千里を走る!

口に戸は立たず。田舎の情報伝達能力は、光ファイバーを超えるほどの恐ろしいスピードで広がります。

3 困ったらチャンス!

困りごとやわからないことは、どんどん地域の人を頼りましょう。必要以上に詳しく教えてもらえるかも。目からウロコの情報あり。

4 無いと困る【三種の神器】

車 … 田舎は車社会、冬タイヤもお忘れなく!
草刈機 … 農地付きの家に住むなら必須!
暖房器具 … 加美町の冬、そんなに甘くないです。

5 不便? いいえ…

ここでしかできない、丁寧な暮らしを楽しむ!
自然の恵み、人の温もり…あなたは他に何を望みますか?



地域おこし協力隊も全面サポート！

加美町では平成22年度から地域おこし協力隊制度に取り組み、これまで46名の隊員を受け入れています。

基幹産業である農業をはじめとしたさまざまなミッションで隊員を募集中です！
加美町ってどんなところ？家の周りにはどんなものがあるの？地域コミュニティは？支援制度は？

移住の先輩である隊員がそんなお悩みにお答えします。移住をお考えになる際に
気になることはなんでもお気軽にご相談ください。

